「福島県総合計画(2022►2030)」 政策に紐付く指標一覧(34指標)

〔ひと分野〕 P1~3

- No.1 健康寿命(男性、女性)
- No.16 福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合(意識調査)
- No.30 地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合(高等学校)
- No.31 福島県の教育環境に満足していると回答した県民の割合(意識調査)
- No.48 日頃、人と人の支え合いや絆を実感していると回答した県民の割合(意識調査)
- No.62 人口の社会増減

[暮らし分野] P4~9

- No.77 避難解除区域の居住人口
- No.78 避難者数
- No.79 避難指示区域の面積
- No.80 本県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると回答した県民の割合(意識調査)
- No.81 移住者受入団体数
- No.104 土砂災害から保全される人家戸数
- No.105 犯罪発生件数(刑法犯認知件数)
- No.134 医療施設従事医師数(全県、相双医療圏)
- No.135 就業看護職員数(全県※常勤換算数、相双医療圏※実数)
- No.136 介護職員数
- No.152 本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した 県民の割合(意識調査)
- No.172 自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合(意識調査)
- No.181 文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(鑑賞を含む) (意識調査)
- No.182 今住んでいる地域が住みやすいと回答した県民の割合(意識調査)

[しごと分野] P10~16

- No.202 製造品出荷額等
- No.214 浜通り地域等の域内総生産(GDP)の伸び率(平成22年度対比)
- No.215 浜通り地域等の建設業を除いた域内総生産(GDP)の伸び率(平成22年度対比)
- No.216 福島イノベーション・コースト構想対象地域における農業産出額
- No.217 福島イノベーション・コースト構想の認知度
- No.231 農業産出額
- No.232 林業産出額
- No.91 沿岸漁業生産額
- No.98 県産農産物価格の回復状況(米、もも、牛肉)
- No.246 再生可能エネルギー導入量
- No.100 観光客入込数
- No.259 安定的な雇用者数(雇用保険の被保険者数)
- No.270 七つの地域の主要都市間の平均所要時間
- No.271 交通ネットワークや情報基盤が十分整備された地域に住んでいると回答した県民の割合 (意識調査)

〔ひと分野〕

政策1 全国に誇れる健康長寿県へ

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	健康寿命	判定	_	_	_									
	男性	目標値				73.28	73.57	73.86	74.15	74.44	74.73	75.02	75.31	75.60
		実績値	72.28											
		75	_			目標値								75.60
		74 73	実績値											70.00
		_{単位} 72 (歳) 71	72.28			73.28								
	女性	判定			_									
		目標値	75.07			76.25	76.45	76.65	76.85	77.05	77.25	77.45	77.65	77.85
		実績値 79	75.37	:				:		:	:			:
		78	_											_
		77	実績値			目標値								77.85
		76 単位 (歳) 75	75.37			76.25								
	現状分析・今後の 見通し		健康寿命 、男性は1	· - • · - · ·					• • • •					
	今後の課題		くしま21詞 いる項目も あり、意詞	多いこ	とから、	今後、健	康指標を	改善させ	せるため	には、健	康無(低)関心層	へのアフ	プローチ
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	の中で使 健康教 目(メタボ ンツの制 また、優	育動画コ	教育動 ンテンツ の健康な 。 は短期	画コンテ につい など)や 間で成果	ンツの整ては、健康協会けん	が ける は は は は は は は た く し ま み く し ま み く し ま る り た う た う た う た う た う た う た う た う た う た	る。 E21計画 Fしていた	の最終	評価で改、強化が	を きまれる とうしゅう とうしゅう かままれる とうない かまない かまない かまない かんしょう かいしゅう かいしゅ かいしゅう かいしゅう かいしゅ かいしゅう かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ	マイナスの容を中心	となってし 心に動画	いる項 「コンテ

政策2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
16	福島県で子育てを	判定	_	_	_	未達成								
	行いたいと回答した 県民の割合(意識調	目標値				68.0	70.3	72.6	74.9	77.2	79.5	81.8	84.1	86.0以上
	京氏の引力(忠誠調査) 査)	実績値	61.8	67.1	65.7	61.4								
	_	100 80 60 40 単位 ²⁰	61.8	67.1	65.7	目標値 68.0 61.4 実績値								86.0
	現状分析・今後の見通し	令和2年 継続によ に対する	り、社会	全体にお	ける自然		が長期化							
	今後の課題	感染症: また、社会 意識の浸	会情勢の	変化に係	半い、多		方が広か							
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	少子化! 要因が重				ける意識 れること						労働環境	竞等、複1	合的な

政策3「福島ならでは」の教育の充実

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
30	地元自治体等と 共に課題解決に 向けた学習活動を 実施した学校の割	判定 目標値 実績値	_	_	88.2	達成 60 92.3	70	80	90	100	100	100	100	100
	美施した学校の制 合(高等学校)	100 · 80 · 60 · 40 · 単位 (%) 0 · ·			88.2	92.3 60	標値							100
	現状分析・今後の 見通し	学習指導 じめとする ながったと 援の在り7	・県教育 - 思われ	委員会の る。定時)諸事業		也域課題	探究学	習の実施	極率が大	幅に増カ	ロし、実績	値の向.	上につ
	今後の課題	地域との	協働が	持続的な	ゞものと ^ォ	なるよう、	学校∙地	域間の記	連携体制	を全県的	りに構築	としていく。	必要があ	うる 。
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	学校の ^教 がりを構築)課題やえ は課題探究							具体的机	なつな
31	福島県の教育環境に満足している と回答した県民の 割合(意識調査)	判定 目標値 実績値 100 · 80 ·	36.6	43.5	41.1		48.3	51.9	55.5	59.1	62.7	66.3	69.9	73.0以上
		60 · 40 · 単位 (%) 0 ·	36.6	43.5	41.1	日標値 44.7 34.8 実績値								73.0
	現状分析・今後の 見通し	前年度は制限されがまた、地来の課題により、教	ことが! 域課題! である算	要因の- 架究学習 「数・数学	-つと考; や震災 が苦手	えられる。 学習など な状況は	、子ども 変わら	たちの協 ず、また、	協働的な [:] 、ICT活月	学びは順	[調に広:	がりつつ	あるもの	の、従
	今後の課題	教員のIG	CT活用:	指導力 <i>0</i>)向上。	教員の時	間外勤	務時間 <i>の</i>	下げ止る	まり。				
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)		且み合わ 資質・能 変化に応	せ、画- 力を確実 じた働き	-的な- に育成 方改革	-方通行の する。 の推進や	の授業等	から個別	引最適化	された学	さびへの	変革を進	め、子と	もたち

政策4 誰もがいきいきと暮らせる県づくり

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
48	日頃、人と人の支 え合いや絆を実感	判定	-	_	_	未達成	20.1	70.4		75.0		70.0	0.1.0	24.2
	していると回答し	目標値 実績値	61.2	59.7	63.5	65.8 60.0	68.1	70.4	72.7	75.0	77.3	79.6	81.9	84.0
	た県民の割合(意識調査)	100 80 60 40 単位 (%) 0	61.2	59.7	63.5	目標値 65.8 60.0 実績値								84.0
	現状分析・今後の 見通し	前年度は新型コロス続いている	ナウイル	ス感染症	の流行		支人同士							状況が
	今後の課題	児童虐ん			件数、心	心の健康(こ関する	電話相談	談件数は	増加傾[句にあり	、引き続	ききめ細	かに対
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	助けを求 強化、相言				よう、暴力 する。	や虐待	について	の正しい	v知識の ⁻	普及•啓	発や、関	係機関の	の連携

政策5 福島への新しい人の流れづくり

No	指標の名称	<u> </u>	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	D10	R11	R12
			ПЛ	ΠZ	n o			<u> </u>	Π /	по	nэ	n I U	ווח	n ı z
6	2 人口の社会増減	判定	_	_	_	未達成								
		目標値				△ 5,580	△ 4,882	△ 4,184	△ 3,486	△ 2,788	△ 2,090	△ 1,362	△ 694	0
		実績値	△ 6,925	△ 6,278	△ 5,671	△ 6,652								
		0												
		△ 2,000	-				標値					•••••		
		△ 4,000	△ 6.92	₂₅ △ 6,2	78 △ 5,6	71 \(\times 3,	380							
		△ 6,000 単位 (人) △ 8,000	•				6,652 実	績値						
	現状分析・今後の見通し	新型コロ 一極集中 して全国 超過に転	の動き <i>た</i> でも低い	が揺り戻り 順位であ	しの動き	が見られ	、本県σ	社会減	は4年ぶ	りに悪化	した。本		き増減は	依然と
	今後の課題	・本県への社会減が ・首都圏で	全体の	半数を占	めており	、こうした	≥層が本	県に定着	•還流し	てもらう	取組を強	食化してし	い必要な	
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)		向などを	しっかり								J、首都圏 わせなが		

〔暮らし分野〕 政策1 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生

<u>政策</u>	1 東日本大震災	:•原子力	災害/	<u> からの1</u>	复興・再	生								
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
77	避難解除区域の	判定	_		_	達成								
	居住人口	目標値				Æ1%			增	曽加を目指す				
		実績値		63.700	64.248	64.665								
		80,000		00,700	0 1,2 10	0 1,000								
		60,000		•		-								
				63,700	64,248	64,665								
		40,000 - 単位				実績値								
		(人) 20,000 上												
		避難地域												
	現状分析・今後の 見通し	介護施設の 加が図られ				が分美を	い争けら	れ、今後	さば、当ま	纟文	東の推り	進により、	帰退人	ロの増
	元旭し	また、帰還				がら、移住	・定住を	促進し、	新たな流	舌力を呼	び込む。			
		0 1 2 1 1 1 1 1												
		帰還を希	望する	住民のこ	ニーズを旨	啓まえた	支援施領	の推進	や移住え	6望者の	ニーズを	おままり	- 移住•5	定住施
	今後の課題	策の推進等							. ,, ,					C .— "."
	Δ%Ω±&	帰還を希	望する	住民の	ニーズを	踏まえた	支援が行	fえるよう	う、国に対	付して、福	島再生	加速化药	付金(小	帚還∙移
	今後の方針 (目標達成に向けた	住等環境整												
	今後の取組)	用の弾力化		るよう求る	かるととも	に、復興	•創生期	間(第2	期)後も	含め、長	期的かつ	つ十分な	予算を研	催保する
		よう求める。	•											
78	避難者数	判定	_											
		目標値							長期的	りにゼロを目	指す			
		実績値 3	9,724	35,703	33,365	27,399								
		40,000												
		30,000	39,724	35,703	33,365									
		20,000		00,700	33,300	27,399								
		単位 10,000 1				- 実績値								
	現状分析・今後の 見通し	えられる。(県外避難 く減少したチ なお、減少	者数に	こついて った。(前	は、復興/ 「年比約/	\5,600人)		ま果により)計数が	精査され	し、令和4	年度比 [·]	で、著し
	今後の課題	「令和4年 かない」と[の条件にあ	回答した	た方の理	曲として	、「医療機	と 関の拡	充等」「雨	 角業施設					
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	除染や医 農林水産業 いくことが必	€∙観光	業等地										
79	避難指示区域の	判定	_	_										
	面積	目標値							長期的	りにゼロを目	指す			
		実績値		336	336	315								
		600												
		400		•										
		200		336	336	315								
		単位 (km²) o				実績値								
		(Kill)												
	現状分析・今後の 見通し	特定復興 年度には富									いて避難	指示が角	解除され	、令和5
	今後の課題	令和4年月 の避難指示						₹土の2.2	29%残存	すしており	り、引き約	売き、帰還	困難区	域全て
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	令和5年6 難区域を抱 連携しなが	える†	町村が	作成する									

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
80	1 711 17 120 1	判定	_	_	_	未達成								
	故からの復興・再生	目標値				45.3	48.4	51.5	54.6	57.7	60.8	63.9	67.0	70 以上
	が進んでいると回答した県民の割合(意	実績値	48.5	47.4	42.2	44.5								
	識調査)	100 80				目標値								
		60				45.3								
		40	48.5	47.4	40.0	44.5								70
		単位 (%) 0	40.5	4.7.4	42.2	実績値								
	現状分析・今後の見通し	前年度」 後に低下				答えた割っ 憶の有無							れ50~4	0%前
	今後の課題		或の生活	環境の	整備や帰	1年経過 環支援 関が山	、移住支	援は途」						
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)		、生活再			つても異開支援、								
81	移住者受入団体	判定	_	_	_	達成								
	数	目標値				15	18	21	25	29	34	39	44	50
		実績値		13	13	19								
		40												50
		30		13	13	19 🔋	績値							30
		20		•		-19-								
		単位 (団体) 0				15 ⊟	標値					6 6 8 8 8		
	現状分析・今後の 見通し	同様、帰ばる。そのだするなど、 ※R4より	還を促進 とめ、地域 受入体 リふくしま 数に加	する施領 或と移住 制の強化 12市町	を基軸 者をつな に取り組 対移住り 制度によ	ぐ地域受	がら、地 を入団体 く。 -制度を	域の新/ の発掘を 開始。	cな活力 を進めてい	として移 いくととも	住者を呼いて、関係	呼び込む。 系者のネ・	ことが必	要であ
	今後の課題	地域受力	人団体 <i>σ</i>)発掘、及	なび活動	支援。								
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)		受入体	制を強化	していく		要であり	J、地域0						

政策2 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり

		<u> </u>	1,0 10		<u> </u>	<u>心"み</u> 示	· ,,							
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
104	土砂災害から保全さ	判定	_	_	_	達成								
	れる人家戸数	目標値				15,379	15,462	15,669	16,305	16,489	16,783	16,873	17,112	17,501
		実績値	15,004	15,061	15,078	15,470								
		18,000												
		17,000				実績値					_			17,501
		16,000	15,004	15,061	15,078	15,470		_						
		単位				15,379	目標値							
		(戸) 14,000 土 ひ 小***	宇任院祭	元の紹	出し合け	-+_ T/\R+ F	组存体到	の敷供	において	1月1月17	ナルナスタ	E#1	F 📛 🗸 II .	フが生
	現状分析・今後の	や世界情												
	見通し	事業完了												
		達成する	ことがで	きた。(R	4目標:1	5,379戸)								
		⊥ 7/\ ⟨⟨⟨⟩	宝色吟烟	日記の柳	344.圆口	/2 △ ↓	安大 <u></u> 往 7	いレルス	ため、各	笠 正 の =	上面がた	ウフも目	142 5 +-3	マ 竺 広
	今後の課題	保に努め											店がんだ	7异唯
	/ BC 07 BK AGE								戊に向け					
	今後の方針													
	(目標達成に向けた	用地取	得に時間	を要して	いる箇戸	折や関係	機関等の	の協議に	時間を要	要する箇	所におい	て、課題	解決に	努める。
	今後の取組)													
105	犯罪発生件数	判定		_	_	未達成								
	(刑法犯認知件数)	目標値				前年比	減少を目指	す ーー・						- →
		実績値	9,416	7,655	6,627	6,913								
		全国平均		13,069	12,087	12,794								
		14,000				12	794 全国	平均						
		12,000 10,000		13,069	12,087									
		8,000	9.416			6,913	実績値							
		単位 6,000	3,410	7,655	6,627									
		(件) 4,000 平1:土 XII:	■刃 左□ //+ 米	b1+ √7 5	む14年た	ピーカニ	年夕減ノ	い傾向に	あったが	マモ チリー	口士卢ィ	(ルフが	生の行動	1年11月日 おく
	田地八七 人纵不		心从什么	XIみ、T /:						、利王-	ロン・ノイ	ノレヘカリ	Rリン1」 多	, נא אלווים ו
	現状分析・今後の			どが影響	し、令和	4年は認	!知件数:	が増加に	三転じた。					
	現状が析・学後の 見通し	緩和され												
		緩和され 今後は	たことなる人流が活	5発化し、	増加傾	向に推移	する恐れ	いがある	0					
	見通し	緩和され 今後は 新型コロ	たことない 人流が活 コナウイル	5発化し、 ルス対策	増加傾 の行動	向に推移 	がする恐れ 和された	ιがある -ことなと	。 ごが影響し					
		緩和され 今後は 新型コに 今後も、	たことな 人流が活 コナウイ/ 人流の	氏発化し、 ルス対策 活発化な	増加傾の の行動 にどにより	向に推移 制限が緩 犯罪の	がする恐れ 和された 発生が増	れがある ことなど 加するこ	。 ごが影響し ことが予想	思される	ことから、	各種犯	罪の発生	
	見通し	緩和され 今後は 新型コロ	たことな 人流が活 コナウイ/ 人流の	氏発化し、 ルス対策 活発化な	増加傾の の行動 にどにより	向に推移 制限が緩 犯罪の	がする恐れ 和された 発生が増	れがある ことなど 加するこ	。 ごが影響し ことが予想	思される	ことから、	各種犯	罪の発生	
	今後の課題	緩和される今後が、新型コルクの表がある。	たことなる人流が活ったウイル流の分析したウ	氏発化し、 ルス対策 活発化な 情報を基	増加傾の行動能をといる。	向に推移 制限が緩 犯罪の 取果的なな	がする恐れ 和された 発生が増 対策を講	れがある こことなと 加するこ じ犯罪の	。 :が影響に ことが予禁)発生を持	思される。	ことから、いくことだ	・各種犯り では おいま おいま はい はい はい はい かい	罪の発生	
	今後の課題	緩和され 今後 新型はも、分析し、分 地域の	たことなった人流がイント人流がイントが、一人流した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏発化し、 ルス対策 活発化な 情報を基	増加傾 の行動能 だにより対 により対	向に推移制限が緩り犯罪の対果的な対理の対象を対します。	なする恐れ 和された発生が増 対策を講 対策を講	れがある ことなど 加するこ じ犯罪の こ、県民	。 ごが影響! ことが予想)発生を持 の安全と	思される。 印制して 安心の研	ことから、 いくことだ 寉保に努	、各種犯 が課題と ⁷ める。	罪の発生 なる。 	上状況を
	今後の課題	緩和され 今後 新型はも、分析し、分 地域の	たことなった 人 コナウイル 分析した・ 実町村等	氏発化し、 ルス対化を 活報を基 した総し と連携し	増加傾 の行動は とにより対 いないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	向に推移 制限が緩り犯罪の対 リ果的な対 エア・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	なする恐れ 和された 発生が増 対策を講 対策を講 対策を講	れがある ことなる。 に加那罪の ここ に ここ に ここ に ここ に ここ に ここ に ここ に	。 ごが影響にことが予禁 ごとが予禁 の発生を持 の安全と 進し防犯	思される。 印制して 安心の研 対策を図	ことから、 いくことだ 寉保に努 図るととも	、各種犯 が課題と ⁷ める。	罪の発生 なる。 	上状況を

政策3 安心の医療、介護・福祉提供体制の整備 No 指標の名称 R元 R2 R3 **R4** R5 R6 **R7 R8** R9 R10 R11 R12 134 医療施設従事医師 判定 数(全県) 目標値 4,050 4,108 4,167 4,225 4,284 4,342 4.401 4.459 4.518 実績値 3,892 5.000 4,000 4,518 3,000 4.050 3,892 2.000 円標値 実績値 1,000 単位 令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計(未公表)によると、増加する見込みであり、目標値に近い医師数と 現状分析・今後の 見通し なっている。 本県は医師少数県であり、県内のほとんどの地域で医師が不足していることから、修学資金制度や県外医 今後の課題 師招へい等により継続して医師の確保・定着を図る必要がある。 今後の方針 修学資金制度により確保した学生や医師の県内定着を図るため、地域医療を学ぶ研修会等地域医療への 理解を深めるとともに、地域における臨床研修、専門研修施設の充実に向けた取組を支援し、若手医師が県 (目標達成に向けた 内で研修・勤務しやすい環境づくりを目指す。 今後の取組) 医療施設従事医師 判定 数(相双医療圏) 目標値 172 175 179 183 187 191 196 200 204 実績値 171 350 300 250 実績値 目標値 200 150 204 171 172 単位 50 現状分析・今後の 令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計(未公表)によると、大きな改善は見られず、目標達成は厳しいとみら 見通し れる。 東日本大震災及び原発事故の影響等により減少した医療従事者を確保するために、継続して人材を確保し 今後の課題 ていく必要がある。 今後の方針 引き続き、被災地域の医療機関に医師の派遣を行う支援教員事業や寄附講座を支援するなど、相双医療 (目標達成に向けた 圏の医師を確保するための取組を進めていく。 今後の取組) 135 就業看護職員数 判定 (全県) 目標値 24,892 25,147 25,531 25,719 25,906 26,094 26,282 26,469 26,469 ※常勤換算数 実績値 24,046 全国平均 32,008 35.000 目標値 ▲ 全国平均 30.000 24.892 25,000 26 469 24.046 実績値 20,000 単位 令和4年度の業務従事者届(集計中・未公表)によれば、増加する見込みであるが、領域別、地域別の偏在 現状分析・今後の が課題となっている。地域に応じた看護職員の養成、確保及び資質の向上を主軸とした各種対策により、今 見通し 後も増加することが見込まれる。 18歳人口減少により、県内看護師養成所等施設の受験者数が減少傾向にある。また、少子高齢化や医療 今後の課題 の高度化に伴い看護職員の就労の場や役割が拡大している状況にあり、ニーズを踏まえた養成、確保、定着 促進、質の向上に向け、取り組む必要がある。 引き続き「福島県看護職員需給計画」に基づき、「東日本大震災からの復旧・復興」、「次代の看護を担う人 今後の方針

材の育成」、「県内への就業促進と定着化」、「看護職員の資質の向上」を基本目標とし、施策に取り組んでい

(目標達成に向けた

今後の取組)

	就業看護職員数	判定 -		_									
	(相双医療圏) ※実数	目標値			1,469	1,495	1,521	1,546	1,572	1,598	1,624	1,649	1,675
	公天 奴	実績値	1,400										
		1,500	1,400 実績(1,469								1,675
	現状分析・今後の 見通し	(人) 。 令和4年度 戻っていない 開等に応じて		圏に対す	る看護職								
	今後の課題	東日本大震 た。今後医療 がある。	ジ及び原発 機関が開設										
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)		国島県看護耶 「県内への家										
No	指標の名称	F	R元 R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
136	介護職員数	1376											
		目標値			35,342	36,298	36,487	36,676	36,852	37,028	37,204	37,380	37,555
		実績値 32,	473 33,249	33,731									
		45,000	2,473 33,24	実績値 9 33,73	目標値 35,342								37,555
	現状分析・今後の見通し	令和3年度 効求人倍率に での人材確保 率:全職種(F	呆は一段と 厳	高い状況	にある。 ことが想え	また、今 される7	後労働 ため、よ	カ人口が リー層の	減少して	こいくこと	を考慮す	ると、介	護分野
	今後の課題	将来の進路 メージを払拭 より高い傾向		、介護の信	士事に対	する魅力]発信が	必要であ	る。また	:、1年未			
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	労働力人口 すい環境整備	1が減少する 備、人材育成										働きや

政策4 環境と調和・共生する県づくり

-5151	くち 球児に呼仰 ア	1 , 0	,,,											
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
152	本県の豊かな自然	判定	_	_	_	未達成								
	や美しい景観が保	目標値				56.6	59.8	63.0	66.2	69.4	72.6	75.8	79.0	82 以上
	全され、野生鳥獣との共生が図られて	実績値			53.4	49.5								
	いると回答した県民の割合(意識調査)	100 - 80 - 60 -			53.4	目標値 56.6								 82
		40 - 単位 (%) 0 -				49.5 実績値								
	現状分析・今後の 見通し	「はい」と 湖、尾瀬が いる。(参	などを有	する会津	■地方と、	で高く(60 震災・原								
	今後の課題	基盤整備	等、依然	さいて誤 然公園和	関が山間	の減少や	5 。							
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	化していく	、。 ミグリーン	ノ復興構	想」に基	推進に向け づく自然 対策を進め	環境の係	呆全と調						

政策5 過疎・中山間地域の持続的な発展

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
172	自然と伝統が残る	判定	_	_	_	未達成								
	農山漁村地域を大	目標値				87	88	89	90	91	92	93	94	95 以上
	切にしたいと回答した県民の割合(意識	実績値	85.8	89.5	86.1	82.8								
	調査)	100 - 80 - 60 - 40 - 単位 (%) 0 -	85.8	89.5	86.1	82.8 実績値	標値							95
	現状分析・今後の 見通し	歳代の年 合が高い を大切に	代が809 (約20% したいと 悪化傾向	6を下回)ことから 思う割合)は、コロ	っている 当該年 が高いz ナによる	代を中心 k準で維 る行動制	19歳、2 とした意 持される 限により	0歳代の 識醸成 と見込ま 、伝統文	年代にま 等の取組 れる。 化などに	いて「ど lにより、 注まする	ちらとも 自然と伝 幾会が洞	言えない 伝統が残 は少したこ	りと回答 る農山漁	した割 A村地域
	今後の課題	代を中心	とした意 疎・中山 ト上回っ	識醸成な Ⅰ間地域↓ ており、混	b理解促 よ、65歳 高齢者比	以上の高	目を進め 高齢者の	ていくこと 割合(高	とが課題。 齢化率)	となる。 は、県全	体の比	率32.4%に	ニ対し、3	ع%8.4
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	く発信する 林漁業体 援する。	る。農林な験や環境	k産業、 競教育イ 協力隊	農山漁村ベント等	の開催を トの学生 ^ッ	る場とし 支援す。 などの地	て、地域: るとともに 域住民(創生総合 こ、団体等 の交流を	う支援事 学が行う 活性化で	業(サポ 体験学習 する人材	ート事業 引やふれ を積極的)などに あい活動	より、農 助等を支 込むこと

政策6 ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
181	文化活動やスポー	判定	_	_	_	未達成								
	ツ活動に積極的に 参加していると回答	目標値				34.0	36.3	38.6	40.9	43.2	45.5	47.8	50.1	52 以上
	した県民の割合(鑑	実績値	30.1	26.9	31.7	31.2								
	賞を含む) (意識調査)	100 - 80 - 60 - 40 - 単位 (%) 0 -	30.1	26.9	31.7	34.0 E		-0						52
	現状分析・今後の 見通し	前年度比 での取組												
	今後の課題	新型コロフ き、県民の とができる	D文化活	動やスポ	ーツ活	動への関								
	今後の取組)	社会教育域スポーツ環境づくり	ツクラブ	への支援	等を通し									
182	今住んでいる地域	判定	_	_	_	未達成								
	が住みやすいと回 答した県民の割合	目標値				72.1	73.8	75.5	77.2	78.9	80.6	82.3	84.0	85 以上
	(意識調査)	実績値	69.3	71.8	70.4	66.9								
		80 - 60 - 40 - 単位 (%) 0 -	69.3	71.8	70.4	72.1 目 66.9 実								85
	現状分析・今後の 見通し	前年度」 い世代より 長期化に	りも低くた	いている	5。少子7		進行に。	よる独居	老人等の)増加や	、新型コ	ロナウイ	ルス感	
	今後の課題	地域コミ必要があ		の維持・	形成に向	句けて、県	民の意	見や想し	いを形に	した住民	主役の	まちづくり	を推進し	していく
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)					、お互い するため! 9	こ、市町							

〔しごと分野〕

政策1 地域産業の持続的発展

	<u> </u>	100												
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
20	02 製造品出荷額等	判定	_	_	_									
		目標値				51,911	52,430	52,954	53,483	54,017	54,557	55,102	55,653	56,209
		実績値	50,890	47,670										
		全国平均		64,256										
		70,000 65,000		64,256										
		60,000	_	▲全	国平均	目標値								
		55,000	50,890	47,670		51,911								
		単位 ^{50,000} (億円)45,000			績値		-							-56,209
	現状分析・今後の見通し	ベ業況判 善した。	断D.Iは	引調査、礼 8ポイント の倒産件	回復して	ており、新	「型コロブ	トウイル	ス感染症	の減少	こ伴う影	響が緩和	され、業	ミ況が改
	今後の課題	福島イル域に波及		ョン・コー :め、産業						効果をビ	ジネスに	繋げ、そ	の効果を	上県全
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	産業の 空宇宙、 支援等を	ICT関連		企業誘	致や既存	存企業の							

<u>政</u> 第	き2 福島イノベー?	ション・コー	<u>ースト</u>	構想の	推進									
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
214	浜通り地域等の域	判定	_	_	_									
	内総生産(GDP)の 伸び率(平成22年	目標値				12	15	17	19	20	22	23	24	25
	度対比)							全国と同	司等以上 ※	目標値は	計画策定時	・ がかれる かんしゅう かんしゅ しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん		
	2/12/	実績値	12.7											
		全国平均	10.3											
		20 - 10 - 単位 (%) 0	2	実績値 全国平均		目標値 12								25
	現状分析・今後の 見通し	公表され ついては。 なのは、1、 産の伸び。 R元年度 R元年度 〈参考〉製 15市町	令和2年 5市町村 が大きい 伸び率 伸び率 造品出れ	度までか の伸び ³ いためでで 15市町 全 新額の伸	が公表。) 率が全国 あり、これ 村:12. コン率(令	lと比較し いを除くと 7% Rラ 3% Rラ 和2年度	で高い(、平成2 元年度伸 元年 伸	令和元 ⁴ 2年度対 び率 15 び率	手度)の(比で未か 5市町村 全国	は、復興 で ごマイナス	需要に基 スの伸び 除): ▲1	もづく建設 率である . 1%	と業の域	
	今後の課題	東日本力 産業基盤 等はもとよ ことにより	の再構築	築を目指 7全域か	して、重 らの企業	点分野に	おけるこ こより、补	プロジェク 居野の広	小の具体 いサプラ	k化を一り iイチェー	層進めて	いくと共	に、浜通	り地域
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	浜通り地 か、県内1 併せて、	企業の参	画を推済	進するこ	とで、地域	或経済へ	の波及を	効果を高	める。				

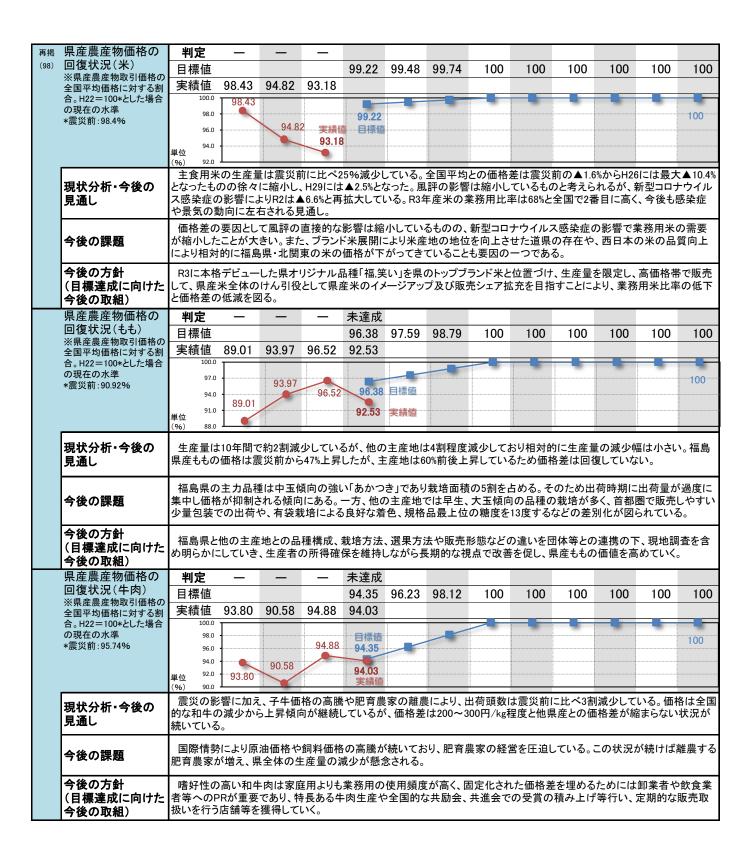
215	浜通り地域等の建	判定												
2.0	設業を除いた域内	目標値						現状の把	握・分析に	 に用いる(目	標値は設	定しない)		
	総生産(GDP)の伸 が変(平成の5年	実績値	Δ 1.1											
	び率(平成22年度 対比)	10 5 0 -5 単位 (%) -10	実績値 △ 1.1											
	現状分析・今後の 見通し	ついては なお、1 産の伸び R元年度 R元年度 〈参考〉製	令和2年 5市町村 が大きい を伸び率 を伸び率 造品出	度までが の伸び いためで、 15市町 全 奇額の伸	率が全国 あり、これ 「村:12. 全国:10.	と比較し を除くと 7% Ri 3% Ri 和2年度	で高い(、平成2 元年度伸 元年 伸	令和元 ⁴ 2年度対 び率 15 び率	F度)の(比で未が 市町村 全国	ま、復興 ビマイナン	需要に基 スの伸び 除):▲1	基づく建設 「率である . 1%	と業の域	
	今後の課題	東日本注産業基盤等はもと。	の再構築	桑を目指 7全域か	らの企業	点分野に	おける こより、ネ	プロジェク 居野の広	トの具作 いサプラ	本化を一 ライチェー	層進めて	ていくと共	に、浜通	り地域
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	か、県内:	企業の参	画を推	産業基盤(進するこの 拡大に取	とで、地は	或経済へ	の波及え	効果を高	iめる。				
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
216	福島イノベーション・コースト構想対象地	判定												
	域における農業産	目標値	000	004	077	301	313	325	337	349	362	374	387	400
	出額	実績値	290	301	277							1		:
		1,500	-		ch/#/d=									
		1,000	290	301	実績値 277	目標値 301							***************************************	400
		500 単位 (億円)	-		-	-				-	_4	-		-
	現状分析・今後の 見通し	するととも・15市町村される等が ・企業参の・営農産権の・営場を発展である。 ・営農がする。 ・営場がは、営り ・選邦やAl	米よ業には還相入り販売で、 との大産農東が談正で、 では還相売なる開処 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 である。 である。 では、 でいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	はないでは、 は、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	新型コローク 参照 かんしょう かんしょう かいまた かいまた かいま は できまた かい は できまた かい は できまた かい は かい	ナらし、進子坦に業別の大い、北京の日にカチンの大い、大いのでは、大いいのでは、大いのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、たいのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	伴う電子では、これでは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、いいのでは、一年をは、いいのでは、一年をは、いいのでは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、一年をは、一年を	その減少和ででである。 ででは、これででは、 ででは、これででは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	に2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	で引価格で 発 類 類 類 類 類 業 に し が し が り り り り り り り り り り り り り り り り	D低 H H H H H H H H H H H H H	・主食用/ 目標と同様 が必避難地 は はまとが を難せ は いつ。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	い in	用へた。 かた続 拠 農 店 深 が も で いる。
	今後の課題	・参入希望 担、労働型 ・市人手不 ・特定 る必要が	力確保か 等受入側 足等が説 興再生拠	く難しいる について 果題。	ことが課題では、受力	園。 人の経験	不足、ま	とまった	農地情報	報の収集	と管理の	の不足、別		等に係
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	・農業は、中央では、一農業は、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央で	の参大を表する。また、まれた。また、まれ、また。また、またが、またが、またが、またが、また。また、また、また、また。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	と保住、 関係を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	、高付加 業の参入 に発構等と に機業では、 と も は、 と は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	価促信る連びをしている。では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	bの形の形成で 正しよ効基再 は効果盤開 は、連農的整理	を支援し参加、パス解を促進地情報のことである。	ていく。 シフレット しなこと 収集、近 れられ 置場撤去	、等資料 ごで、企業 全業受入 る体制素 よの進捗	の作成等 等の参 れを行う を備のさ に応じて	等により、 入に向け 市町村等 援を行う	当該15ī た提案 等向けの 。 排作や地	市町村 やより詳 研修会 力回復

217 福島イノベーション・	判定	_	_	_	未達成								
コースト構想の認知	目標値				72	73	74	75	76	77	78	79	80
度	実績値	57.3	71.8	72.9	70.2								
	100 - 80 - 60 - 単位 (%) 40 -	57.3	71.8	72.9	目標値 72 70.2 実績値		-						80
現状分析・今後の見通し	全体とし代での認				あるが、B である。R3								
今後の課題	とりわけ	若い世代	され の情	報発信	等が十分	に到達す	するようき	手法や内	容の改著	善の余地	゚ゕ゙゙ある。		
今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	若者世代検討する。		世代の構	想の認知	知度を向	上させ、	参画を仮	進するが	ため、効果	果的な施	策∙情報	発信につ	ついて

政策3 もうかる農林水産業の実現

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
231	農業産出額	判定	_	_	_									
		目標値				2,121	2,156	2,191	2,226	2,260	2,295	2,330	2,365	2,400
		実績値	2,086	2,116	1,913									
		全国平均		1,905	1,885									
		3,000			実績値									
		2,500		2,116	1,913							-		
		2,000	2,086	1 905	1.885	2.121								2,400
		1,500 単位 (億円) 1,000		1,000	全国平	匀 目標値								
		【現状分析	折】											
	現状分析・今後の 見通し	・震災直径の品・特に伴うでは、一大前に伴うである。下はにはいた上が上にるが上の場合では、一大が一大が一大が一大が一大が一大の手が一大の手が一大の手が一大が一大の手が一大の手	は目において 語目にいて 悪値による にはまる には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	いて、生 は、 は、 は、 は、 に は が に と が 続い に よが に に よが に よが に よが に に よが に に に に に に に に に に に に に	産量・価値 用から価値を乗びます。 を取引性のでは を取りでは をかいるが でいるが	格ともに、 同料用へ 格の低「 うり、ピー た一方・ が増加した	· 震災前に で で で、 を た。	の水準に により主食 り産出額 ・ヤベツ等 は鶏卵の	には回復 食用米の が減少し 等)は市場)生産量	できてい 作付面和 した。 易入荷が や価格の	ないこと 【・生産】 順調でも)上昇、F	が要因で量の減少あったこと対用子牛	である。 ・や新型= ・から価格 ・や肥育 ⁴	各が低 牛の価
	今後の課題	・生産力の ・競争力の				,								
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	生産力の 模牧場の競争力の 取り組む	整備、ス	スマート農	業を始め	めとしたも	· · 端技術	の開発・	普及など	ごに取り	狙む。		<u>_</u>	

232	林業産出額	判定												
202	州水庄田 版	目標値				120	124	128	131	136	140	145	148	152
		実績値	106.0	101.2	119.5									
		全国平均		102.7	116									
		300 250												
		200 150			実績値 119.5	目標値 120								
		100		Δ-	102.7						_	-		152
		単位 ⁵⁰ (億円) ⁰	106.0	101.2	全国平均									
	現状分析・今後の 見通し	需要が高 ス感染症	まり、製 による巣 木質バイ	材用素材 ごもり需 オマス和	オ等の価 要の影響 リ用施設	格が上昇 響等によ は今後も	けたこと り5%増 整備計i	:等により 加した。 画がある	J24%増 ため、木	加し、栽材の燃料	:培きのこ 料用チッ	プとしての	型コロナ	ウイル
	今後の課題	復していれ 負担となっ また、木 バイオマス 強化してい	ない状況っている。 材製品は ス発電用いく必要	に加え、 。 に関して Iの燃料・ がある。	安全なき は震災前 チップの	のこを生 前の水準 需要の高	E産する にまで叵 まりに求	ために必 復しつつ 応する/	を要な原だ であるが、 ため、原語	木やおが . 再生可 料となる.	粉等の作能エネル原木やオ	ノギーの ⁱ	騰し生産 算入に伴 『の供給	全者の そう木質 体制を
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	の負担軽「『もうかる	:減を図る る』『誇れ	る支援、原る』共に	京木等の 創るふく	生産機構しまの農	城導入支 林水産業	援及びオ	ト材加工 魚村」の	流通施記 実現を目	役整備に 指す。	産資材類 係る支援 着を図っ	髪などを終	
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	沿岸漁業生産額	判定	_	_	_	達成								
(91)		目標値				31	36	40	45	50	63	75	88	100
		実績値	20	21	25	35								
		80 60 40 単位	- 20	21	25	35 ≢ 31 ⊨		-						100
		(億円) 0			1	J. E								
	現状分析・今後の 見通し	原子力災 月からはオ マップを定	体的な搭	桑業への 種	多行期間~	へとシフトし	った。 生産	・流通を	震災前水:	準に回復	させるたと			
	今後の課題	ALPS処理	理水の海	洋放出に	伴い新たれ	な風評が多	発生する	ことが懸念	される中	、更なる技	 操業拡大:	が必要で	 ある。	
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	漁業関係 グ検査やE 産を拡大す	自主検査	を通じたエ	確な情報	発信など	県産水産	物に対す	る消費者			設の整備を 取組、資		



政策4 再生可能エネルギー先駆けの地の実現

<u>以</u> 习	74 舟工り能工作	707)	し河丘・ノ	ノノエビリノ	<u> </u>									
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
246	再生可能エネル	判定	_	_	_									
	ギー導入量	目標値				50.5	51.9	57.0						70.0
		実績値	34.7	43.4	47.0									
		100 - 80 - 60 - 40 -	34.7	43.4	実績値 47.0	目標値 50.5								70.0
		_{単位} 20 - (億円) 0 - 【計画策定	時(R3.10)]R4~R1	1目標値:	未設定⇒	【R4.3】R4	~R6目標	種設定					
	現状分析・今後の 見通し	R3年度の R4年度の 実な上積の	の実績に	集計中	であるが	、大型の)バイオマ	7ス発電	所や太陽	易光発電	所が稼	動するな。	ど、実績	値の着
	今後の課題	R12年度	〔2030年	厚)の中	中間目標	である70)%に向け	けて、更ね	なる導入	拡大を図	つていく	〈必要がる	ある。	
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	R5年度 る事業を										た再エスの組成に		

政策5 魅力を最大限いかした観光・交流の促進

		<u>, 0 /0 C/-</u>	_ F/L/ U	<u> </u>	<i>-</i> //C/C									
No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
再掲	観光客入込数	判定	_	_	_	達成見込み								
(100)		目標値				42,000	47,000	52,000	57,000	57,600	58,200	58,800	59,400	60,000
		実績値	56,344	36,191	35,454	43,750	※推計値(R5.8月公表刊	予定)					
		60,000 50,000 40,000 単位	56,344	36,191	35,454	推計值43,750								60;000
		単位 (千人) 20,000				目標値								
	現状分析・今後の 見通し	新型感たことに。	染症の景 より、R41 5におい	ジ響で大 こおいて てはこれ	は、一定 まで以上	込んだ額の回復だった観光	見光客入 バ見られ 客の移重	込は、全 ると推測 かが活発	される。 になると	推測され	ることか	緊急事態 ら、更な		
	今後の課題	新型コロ うな外的 る。										コナウイル 認知度に		
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	福島県・ターゲット										ける一定 進を行って		メントを

政策6 福島の産業を支える人材の確保・育成

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
259	安定的な雇用者数	判定	_	_	_	未達成								
	(雇用保険の被保険	目標値				581,000	581,000	581,000	581,000	581,000	581,000	581,000	581,000	581,000
	者数)	実績値	582,503	580,442	573,301	568,014								
		600,000 - 580,000 -				581,000	目標値							
		560,000 -	582,503	580,442	573,301	-				_			5	81,000
		540,000 -			373,301	568,014	実績値							
		単位 ^{520,000} -												
		(人)500,000												
	現状分析・今後の 見通し	R元年原 影響によ	度まで雇. り、見通					加してき	たが、新	型コロナ	ウイルス	感染症	や物価上	:昇等の
	今後の課題	県におり 注視して	ける就職 いく必要		生実施す	るにあた	り、今後	県内経済	斉の動向	により雇	用情勢。	がどのよ	うに変化	するか
	今後の方針 (目標達成に向けた 今後の取組)	新規高	卒者、新	規大卒	当等に対	する就職	找支援策	や早期离	推職防止	策を引き	続き行っ	っていく。		

政策7 地域を結ぶ社会基盤の整備促進

